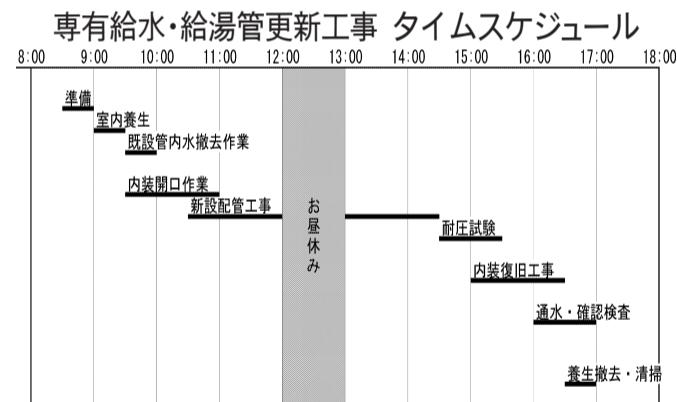
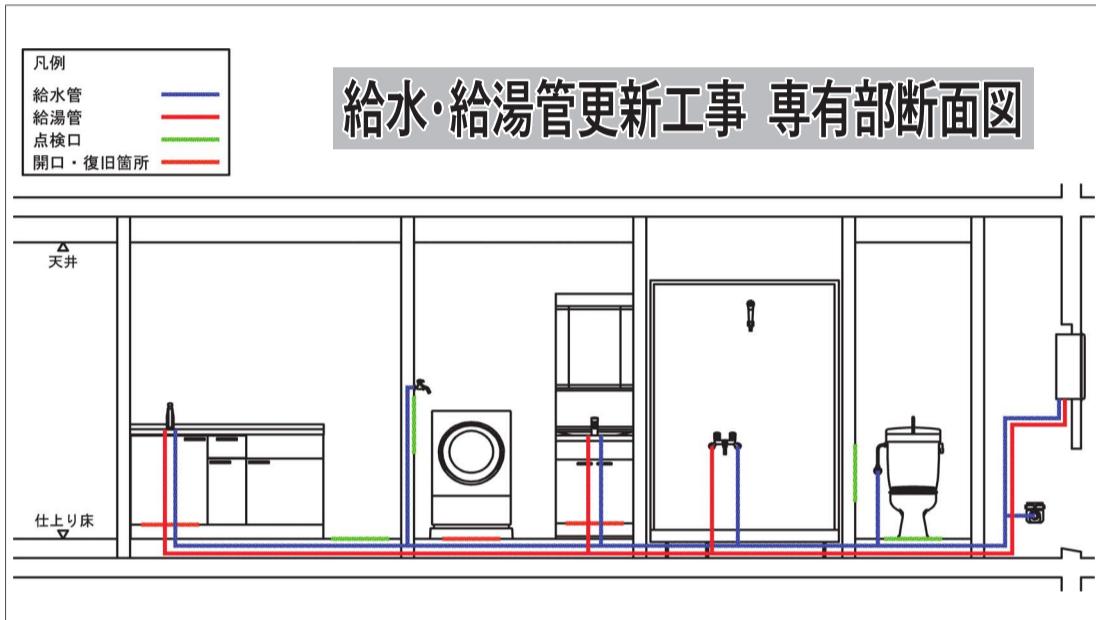




カンパネの「1DAY、KP工法」

専有部給水・給湯管更新工事

1住戸1日で工事終了



施工方針
『お客様に負担をかけない』

- 音を出さない
- 少ない作業員で
- スピーディー



カンパネは今年7月 専有部給水・給湯管を1住戸1日で更新工事を終わらしてしまおう「1DAY、KP工法」が注目を浴びている。給排水設備改修専門企業のカンパネ(本社東京、鳥山重之社長03-5610-7755)が実施している更新工事で、「生活への支障が最低限で済む」と管理組合から引き合いが多数寄せられている。「1住戸1日工法」が更新工事の主流となりそうだ。

カンパネは今年7月 専有部給水・給湯管を1住戸1日で更新工事を終わらしてしまおう「1DAY、KP工法」が注目を浴びている。給排水設備改修専門企業のカンパネ(本社東京、鳥山重之社長03-5610-7755)が実施している更新工事で、「生活への支障が最低限で済む」と管理組合から引き合いが多数寄せられている。「1住戸1日工法」が更新工事の主流となりそうだ。

「スピーディー層マンションの貯水槽だからこそ可能となつた」と「少ない作業員更新。高架水槽は風対策にも万全を期して、今回の給水・給湯管更新工事の「1DAY」を「点検口配管」と呼ぶ。床や壁に30×45cmの開口を開き、そこから配管を敷き、完成後は「点検口」に見えるため「点検口配管」と呼ばれる。使用する配管材は積水化学工業の架橋ポリエチレン管。サビや腐食の発生のない衛生的なパイプで、しかも長尺で軽量、そして柔軟性に富み曲げ配管が可能。そのため、施工性に優れている。

継手は同社のカチット継手を使用。管を継手に差し込むだけのワンタッチ方式で、火器の使用や特殊技能が不要で施工のスピードアップが図れる。

1住戸1日で更新可能となったのは、壁の開口から配管、そして壁の復旧まで一人で出来る多能工を抱えている強みと高い技術力の賜物だ。例えば、開口箇所。美観と施工性を考慮していかに最小限に済ませられるかが重要となる。

企業の高い総合力があってこそ実現した「1DAY、KP工法」といえる。

「生活への支障が最低限で済む」と大反響

多能工養成・高い技術力・豊富な経験と実績の総合力の賜物